

2009年3月期第2四半期決算説明会

株式会社 ミューチュアル

2008.12.3(水)

(第2四半期決算短信補足資料)

代表取締役社長

三浦 浩一

経理部長

吉野 尊文

経営理念 社是

私たちは、社業を通じて、社会の発展に寄与し「共存共栄」をモットーとしてお取引先・株主・社員の豊かな未来を目指します。

ミューチュアル = “互いに協力する共存の精神”

お取引先の立場になって考え、行動し多彩なユーザーニーズを満たすことで共に発展・繁栄する事を喜びとしております。

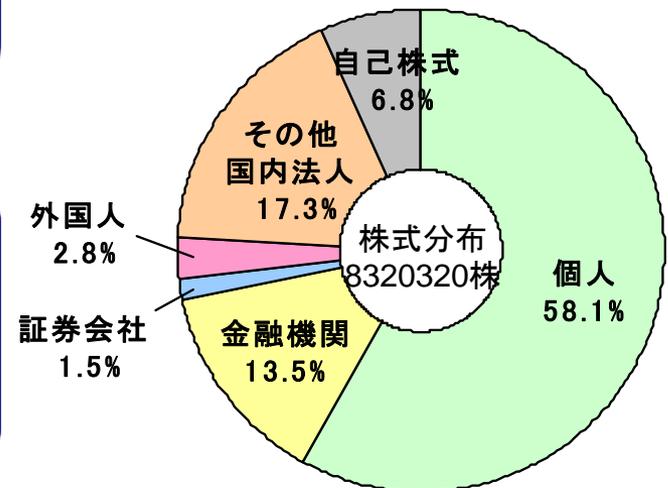
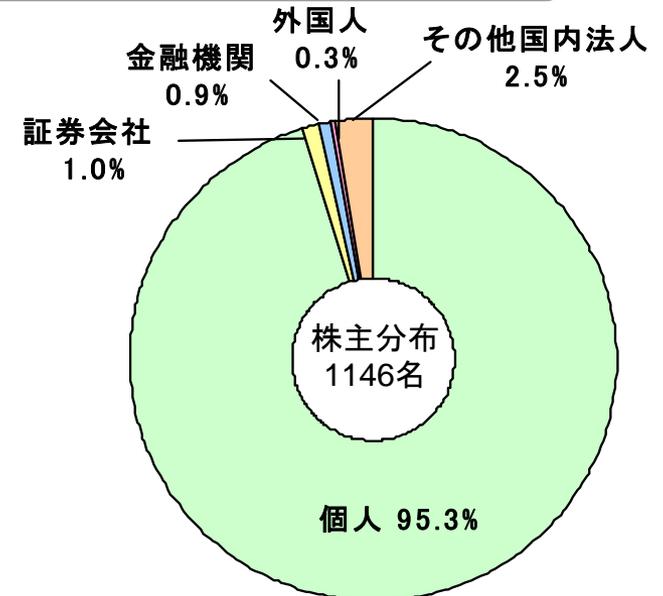
社員一人一人が自らの人格を磨き、助け合い・力を合わせて会社の発展に尽くすと共に社会に貢献する事で企業としての存在価値を見出し、又各人の幸福を追求してゆくことを念じているのであります。

会社概要

社名 株式会社ミューチュアル
会社設立 昭和24年(1949年)2月14日
代表者 代表取締役会長 三浦 隆
 代表取締役社長 三浦 浩一
本社 大阪市北区天神橋7丁目1番10号
資本金 6億6970万円
社員数 131名(34)【連結】 115名(23)【単体】
 ()は嘱託・パート等の外数です
関係会社 3社
上場 2003年6月12日ジャスダック証券取引所
 証券コード2773

事業内容

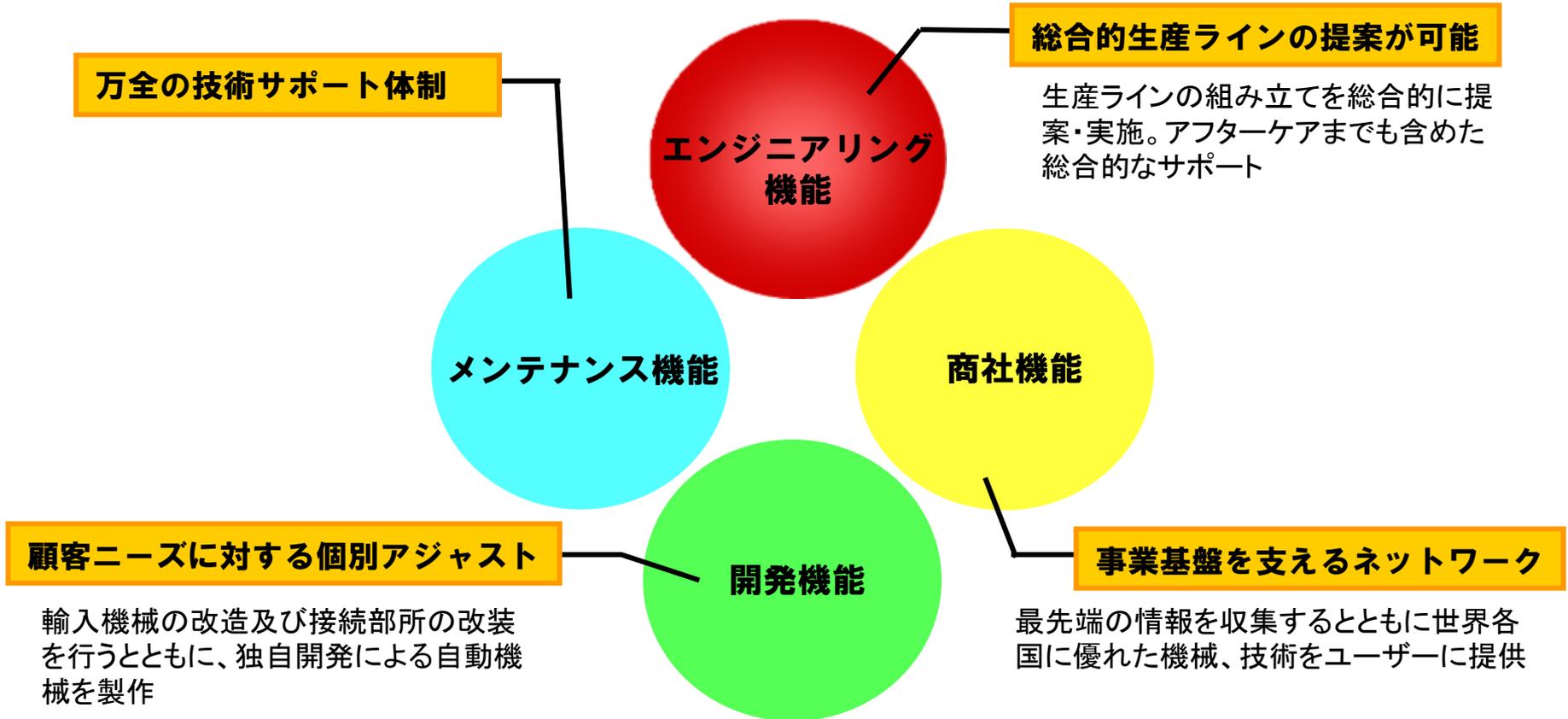
主として、医薬品業界、化粧品業界向けの製剤・包装関連設備を中心とした産業機械等の改良・製造・販売のほか、工業用ダイヤモンドの販売、包装資材の製造・販売等



沿革

- 
- 昭和24年02月 ■産業用機械輸出商社、(株)ミューチュアル トレーディング設立
 - 昭和28年05月 ■工業用ダイヤモンドの輸入販売業務を開始
 - 昭和36年10月 ■国内での包装機械販売業務を開始
 - 昭和38年05月 ■東京事務所（現：東京支店）を開設
 - 昭和44年03月 ■LAMP社との合併で日伊包装(株)を設立
 - 昭和53年04月 ■静岡出張所（現：静岡営業所）を開設
 - 昭和57年02月 ■大阪技術センターを開設
 - 昭和58年04月 ■社名を(株)ミューチュアルに変更
 - 昭和59年11月 ■米国ニュージャージー州にU. M. I社を設立
 - 昭和62年09月 ■福岡出張所（現：福岡営業所）を開設
 - 昭和62年11月 ■東京技術センターを開設
 - 平成06年07月 ■(株)ウイストを設立
 - 平成15年04月 ■富山営業所を開設
 - 平成15年06月 ■（現）ジャスダック証券取引所に上場
 - 平成15年06月 ■資本金6億6970万円に増資
 - 平成17年04月 ■ファーマリード・エンジニアリング(株)設立

当社の強み 4つの機能の総合力で多様な顧客ニーズに応える



目次

1. 2009年3月期第2四半期決算概要 … P 1～P 8
2. 2009年3月期通期業績見通し … P 9～P13
3. 当社の基本戦略 … P14～P22

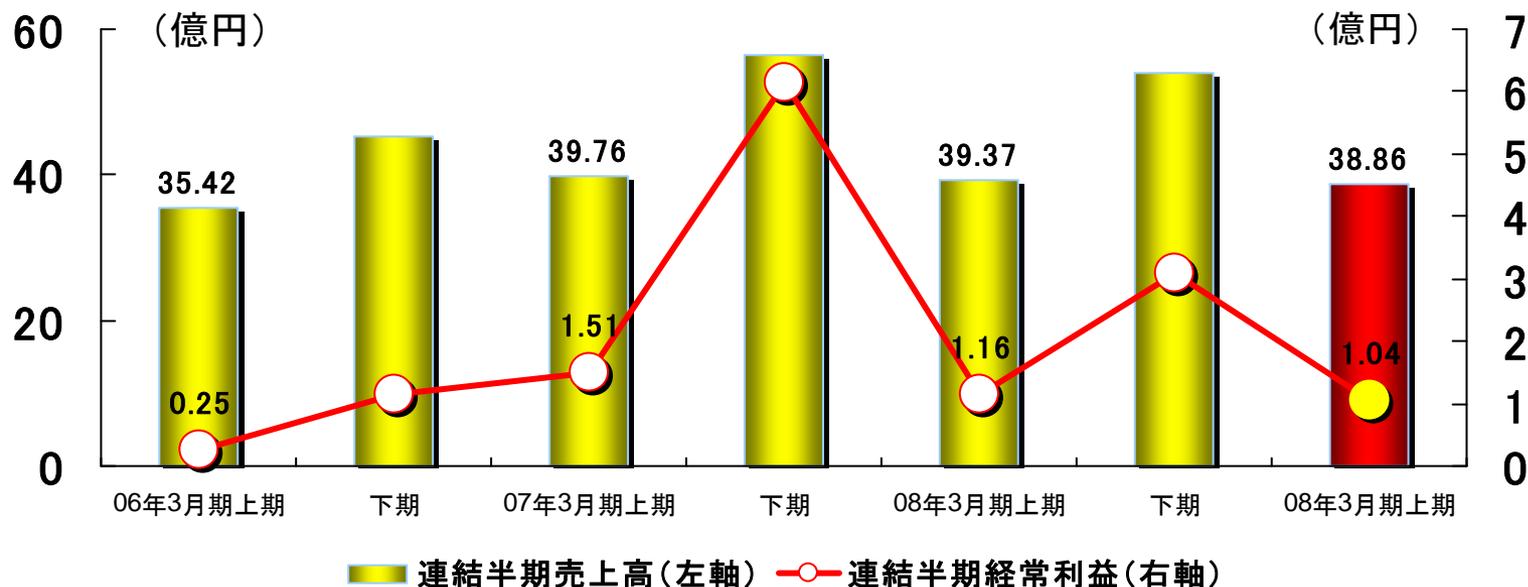
2009年3月期 第2四半期決算概要

経理部長

吉野 尊文

業績ポイント

- 売上高は、平年並み実績を確保
- 売上総利益率が21.1%に改善
- 営業利益率は1.8%、経常利益率は2.7%と前年同期より若干低下した。



損益計算書

(単位:百万円)

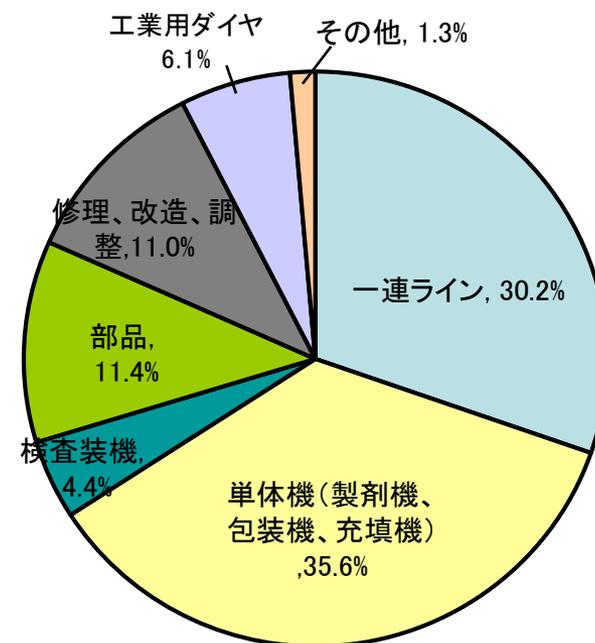
	2007/9	2008/9	前年同月比較	
			金額	率
売上高	3,937	3,886	△50	△1.3%
売上総利益	783	818	34	4.4%
販売費及び一般管理費	695	748	53	7.6%
営業利益	87	69	△18	△20.7%
経常利益	116	104	△12	△10.5%
四半期純利益	41	△11	△53	—

- 売上原価率1.2ポイントダウン(85百万円減)
- 販売費及び一般管理費53百万円増加(人件費20百万円増、旅費交通費9百万円増、広告宣伝費8百万円増等)
- 受取利息・配当金7百万円、為替差益3百万円等で営業外収益12百万円増加
営業外費用も投資有価証券評価損等で6百万円増加

■ 品目別販売構成比

(単位:百万円)

	07/9	08/9	前年 同期比
一連ライン	1,138	1,173	35
単体機(製剤機、包装機、充填機)	1,346	1,388	42
検査装置	157	170	12
部品	481	441	△39
修理・改造・調整	439	426	△13
工業用ダイヤモンド	266	235	△31
その他	106	49	△56
合計(全体)	3,937	3,886	△50



セグメント別売上構成－2

■ 地域別構成比

(単位:百万円)

	2007/9	構成比%	2008/9	構成比%	増減額
国内	3,856	97.9%	3,747	96.4%	△109
北米	—	—	0	0.0%	0
アジア	78	2.0%	138	3.6%	60
その他	3	0.1%	1	0.0%	△2
合計	3,937	100.0%	3,886	100.0%	△50

■ 業界別販売構成比

(単位:百万円)

	2007/9	構成比%	2008/9	構成比%	増減額
医薬品・化粧品	3,272	83.1%	3,007	77.3%	△265
食品	275	7.0%	80	2.1%	△195
その他	390	9.9%	799	20.6%	409
合計	3,937	100.0%	3,886	100.0%	△50

要約 貸借対照表

(単位:百万円、%)

【増減ポイント】

【資産の部】

	2007年9月期		2008年3月期		2008年9月期		増減額
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	
流動資産	7,579	65.3	7,655	65.9	7,405	65.1	△250
固定資産	4,029	34.7	3,965	34.1	3,974	34.9	9
有形固定資産	698	6.0	677	5.8	698	6.1	21
無形固定資産	21	0.2	20	0.2	19	0.2	△1
投資その他の資産	3,309	28.5	3,267	28.1	3,256	28.6	△10
資産合計	11,609	100.0	11,621	100.0	11,379	100.0	△241

- ◆流動資産: 現預金△160
受取手形及び売掛金△650
有価証券+68
棚卸資産+261
前渡金+265
その他△34
- ◆固定資産: 建物及び構築物△6
土地+44
- ◆投資その他の資産: 投資有価証券+56
繰延税金資産+15
長期性預金△100

【負債・純資産の部】

流動負債	3,562	30.7	3,626	31.2	3,536	31.1	△90
固定負債	972	8.4	942	8.1	992	8.7	50
負債合計	4,535	39.1	4,568	39.3	4,528	39.8	△40
純資産合計	7,074	60.9	7,052	60.7	6,851	60.2	△201
負債・純資産合計	11,609	100.0	11,621	100.0	11,379	100.0	△241

- ◆流動負債: 支払手形及び買掛金△168
短期借入金+18
前受金+167
その他△107
- ◆固定負債: 退職給付引当金+51
負ののれん△4
その他+3
- ◆純資産: 利益剰余金△167
自己株式△15
その他有価証券評価差額△23
繰延ヘッジ損益+3

(有利子負債)	109		105		123		18
---------	-----	--	-----	--	-----	--	----

財務データ一分析

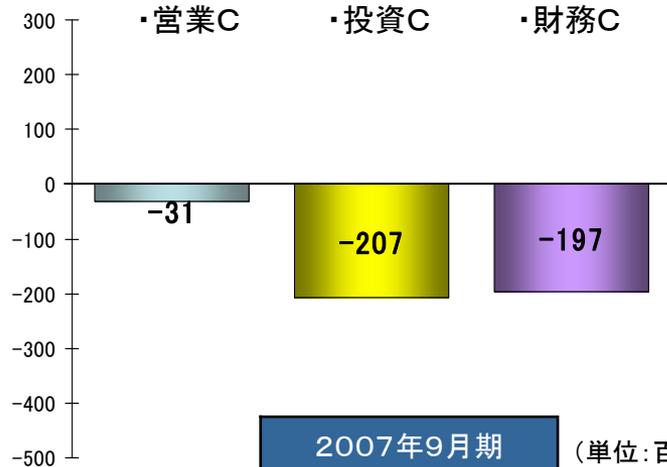
	2007年9月期	2008年3月期	2008年9月期
1. 1株当り純資産額(円)	888. ¹⁶	886. ⁶⁹	863. ⁸⁸
2. 1株当り純利益(円)	5. ²⁷	25. ¹⁴	△1. ⁵²
3. 自己資本比率(%)	59. ⁸	59. ⁴	58. ⁹
4. 流動比率(%)	212. ⁸	211. ¹	209. ⁴
5. ROE(自己資本利益率)(%)	0. ⁶	2. ⁸	△0. ²
6. 総資本経常利益率(%)	1. ⁰	3. ⁶	0. ⁹
7. PBR(株価純資産率)(倍)	0. ⁶⁹	0. ⁵⁸	0. ⁴⁷

参考(期末株価): '06年3月31日 700円 '07年3月30日 579円 '07年9月30日 615円
'08年3月31日 516円 '08年9月30日 412円

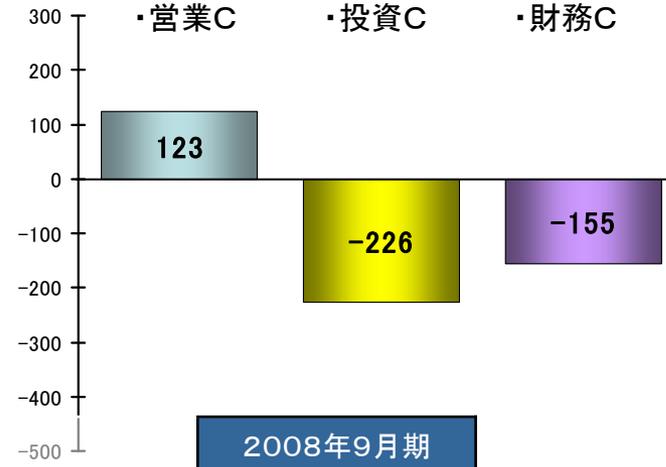
2004年5月20日 普通株1株を1.2株に分割 (963,000株増)
2005年5月20日 普通株1株を1.2株に分割 (1,155,600株増)
2006年4月 1日 普通株1株を1.2株に分割 (1,386,720株増)

キャッシュフロー

(単位：百万円) **2007年9月期**



(単位：百万円) **2008年9月期**



2007年9月期	(単位:百万円)	2008年9月期
2,144	現金及び現金同等物の期首残高	1,900
1,708	現金及び現金同等物の期末残高	1,641
23	減価償却費	21
6	設備投資額	58

- 営業活動** 前渡金の増加265百万円、たな卸資産の増加261百万円、仕入債務の減少168百万円により減少。売上債権の減少650百万円、前受金の増加167百万円、退職給付引当金の増加51百万円、税金等調整前四半期純利益47百万円により増加。
- 投資活動** 有価証券償還による収入33百万円があったものの、有形固定資産取得56百万円、投資有価証券取得204百万円を支出。
- 財務活動** 配当金支払額155百万円、短期借入金増加18百万円、自己株式取得15百万円等の支出。

関係会社の状況

(単位:百万円)

	2007年9月期			2008年9月期		
	売上高	経常利益	四半期純利益	売上高	経常利益	四半期純利益
日伊包装(株)	30	3	2	38	1	△1
(株)ウイスト	390	41	24	431	26	14
ファーマリード・エンジニアリング(株)	68	△13	△13	33	△8	△8

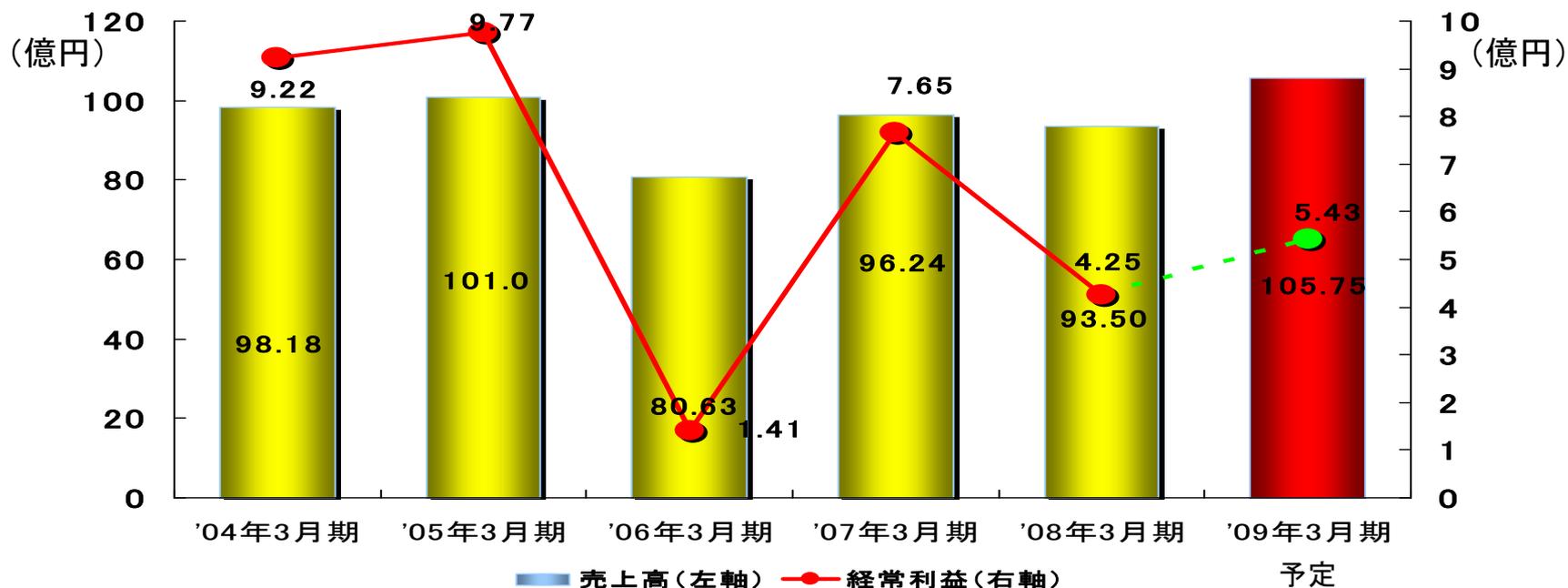
2009年3月期 通期業績見通し

代表取締役社長

三浦 浩一

概況ポイント

- 前期比増収増益見込
- 一連ラインの売上好調
- 子会社ウイストの業績順調



■ 前期実績対比

(単位:百万円)

	2008/3	2009/3 (予定)	通期比較	
			金額	率
売上高	9,350	10,575	1,225	13.1%
売上総利益	1,831	1,978	147	8.0%
販売費及び一般管理費	1,481	1,493	12	0.8%
営業利益	349	484	135	38.7%
経常利益	425	543	118	27.8%
当期純利益	196	288	92	46.9%

■ 株式会社ウイストは売上850百万円

経常利益71百万円

■ ファーマリードは売上150百万円

経常利益12百万円(前期比+9百万円)

■ 増収(1,224百万円)効果により239百万円増益となるが、売上原価率アップで売上総利益は147百万円の増加にとどまる。

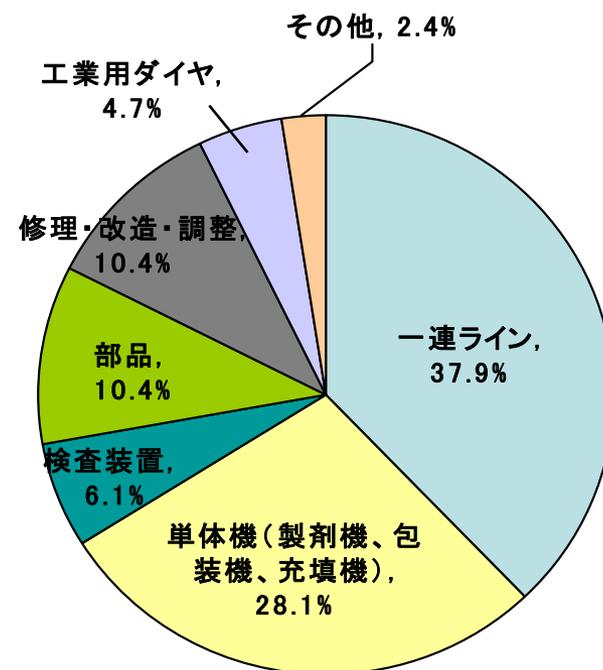
2009年3月期通期予想

セグメント別売上構成－1

■ 品目別販売構成比（予想）

（単位：百万円）

	08/3	09/3 予定	前年 同期比
一連ライン	3,084	4,000	916
単体機（製剤機、包装機、充填機）	2,590	2,975	385
検査装置	812	650	△162
部品	1,048	1,100	52
修理・改造・調整	1,054	1,100	46
工業用ダイヤモンド	532	500	△32
その他	228	250	22
合計（全体）	9,350	10,575	1,225



2009年3月期通期予想

セグメント別売上構成－2

■ 地域別構成比（予想）

（単位：百万円）

	2008/3	構成比%	2009/3(予定)	構成比%	増減額
国内	9,118	97.5%	10,165	96.1%	1,047
北米	0	0.0%	10	0.1%	10
アジア	232	2.5%	400	3.8%	168
合計	9,350	100.0%	10,575	100.0%	1,225

■ 業界別販売構成比（予想）

（単位：百万円）

	2008/3	構成比%	2009/3(予定)	構成比%	増減額
医薬品・化粧品	7,990	85.5%	8,975	84.9%	985
食品	367	3.9%	400	3.8%	33
その他	993	10.6%	1,200	11.3%	207
合計	9,350	100.0%	10,575	100.0%	1,225

関係会社の状況

(単位:百万円)

	2007年3月期			2008年3月期			2009年3月期(予定)		
	売上高	経常利益	当期純利益	売上高	経常利益	当期純利益	売上高	経常利益	当期純利益
日伊包装(株)	74	15	17	64	3	3	73	7	4
(株)ウイスト	771	62	34	1,047	122	68	850	71	40
ファーマリード・エンジニアリング(株)	70	△25	△25	172	3	3	150	12	9



日伊包装
「コンテナー」



ウイスト
「チューブ充填機 WG-1」
-13-



ファーマリード・エンジニアリングHP

当社の現状と 今後の展望

代表取締役社長

三浦 浩一

対処すべき課題進捗状況

■検査機を中心とした製品開発の推進

いくつかの検査装置を開発中

■新しいDDS分野(※)でのシェア拡大

さらに実績を積み重ね、DDSの新しい投薬技術・効果をPR展開・受注強化を図る。
(参考P16)

■M & Aを視野に入れた海外市場への積極的な展開

昨年に引き続き、タイ、韓国、シカゴにて開催された展示会に出展。(参考P19)

引き続き米国等を中心に国内外で調査・検討を継続中。

※DDS(Drug Delivery System(ドラッグ デリバリー システム))とは、目標とする患部のみに薬剤を送り込む投薬技術のこと。ピンポイントで投薬することができるため、薬剤の投与量を最低限に抑え、利用効果を高めつつ、副作用の軽減も期待できる新しい投薬システムとして注目されている。

新製品

新製品の市場への投入

国内初 医薬品製造機器のフルコンテインメント化に成功

イタリアIMA社の打錠機、カプセル充填機により、医薬品製造機器の封じ込め(フルコンテインメント)システム構築に成功



《機器構成(写真左より)》

操作パネル、イタリアIMA社製打錠機 Comprima300、錠剤サンプリング測定装置、除粉機、金属検出機及びアイソレーター、洗浄/乾燥装置

《主な特徴》

- ・接続部からの主薬の漏れがなく、安全に作業できる。
- ・生産終了時に機内に残された製剤を安全に除去できる。
- ・機械の自動洗浄ができ、人手による作業を削減できる。
- ・洗浄後の機械乾燥を自動的に行うことができる。
- ・主薬による人体への影響を抑えた最も高レベルの機械である。



《機器構成(写真右より)》

イタリアIMA社製カプセル充填機 Imati150、サンプリング重量測定装置、除粉機、金属検出機及びアイソレーター、洗浄/乾燥装置

新製品

新製品の市場への投入

経肺吸収/経皮吸収の世界トップメーカー Harro Höfliger社(ドイツ) DDS経肺吸収装置 **日本初上陸**

高齢化が進む中で増加している**新しい投薬形態＝経肺/経皮吸収**

※経肺吸収とは：吸引剤 経皮吸収とは：貼り薬（ニコチンパッチが有名）



オムニドーズ充填機



製品群(例)

《経肺吸収/経皮吸収》

ご老人の患者様の場合、錠剤やカプセル錠では喉に引っかかり、投薬しにくい(飲みにくい)場合があります。また、注射・点滴の場合は、苦痛を伴います。

それに替わる**新しい投薬形態が経肺吸収/経皮吸収**なのです。

新製品

新製品の市場への投入

ロボット式万能カートナー

新技術の構築

多品種対応・再現性・メンテナンス性・高品質

特長

段取り変え時間短縮・不良品の低減・高品質



新製品

新製品の市場への投入

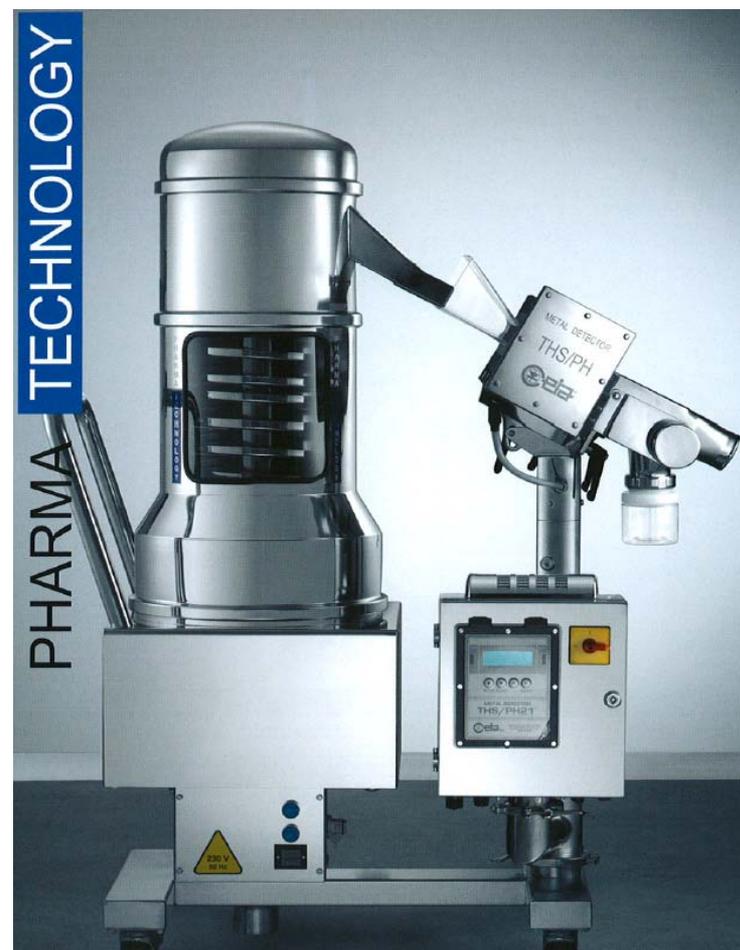
MUTUAL
株式会社 ミューチュアル

COMBI500CEIA型粉取り装置 (金属検知器組み込み式)

Pharma Technology社 (ベルギー)

特長

- ★スパイラル板に最適な角度をつけ、錠剤が全て払い出されるように設計されています。
- ★多品種な錠剤に対応(粘性を持つ錠剤、2層錠剤なども可能)
- ★錠剤は、投入より排出までクローズされた状態で送られます。



内外主要展示会への積極的参加

■ 新規市場への積極的PR

★2008年 展示会出展実績及び予定

- ・ 5月 2008コリアパック(韓国)
- ・ 5月 ワールド・オブ・フード2008(タイ)
- ・ 6月 プロパックアジア2008(タイ)
- ・ 10月 国際粉体工業展東京2008(東京)
- ・ 11月 PACK EXPO(シカゴ)

■ 2008年 展示会

昨年引き続き、海外市場展開を目指し出展



(2008コリアパック:韓国)



(ワールド・オブ・フード2008:タイ)



(PACK EXPO2008:シカゴ)



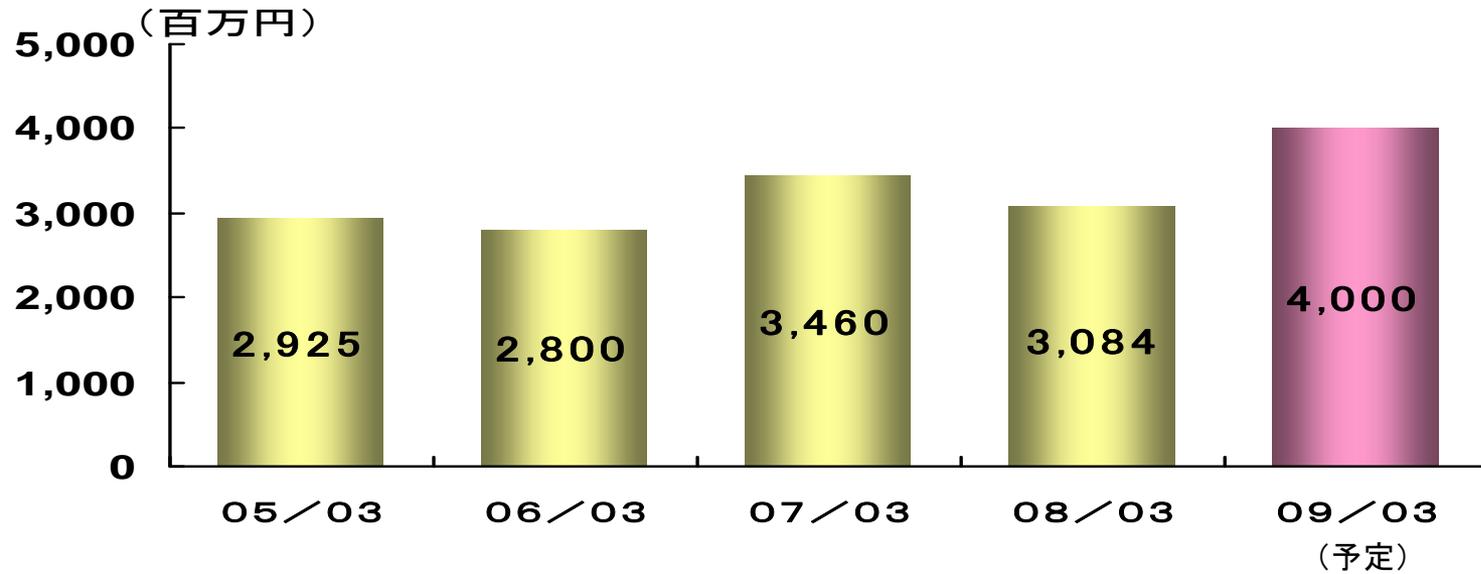
(国際粉体工業展2008:東京)



(プロパックアジア2008:タイ)

一連ラインの推移

■ 一連ラインの売上高推移



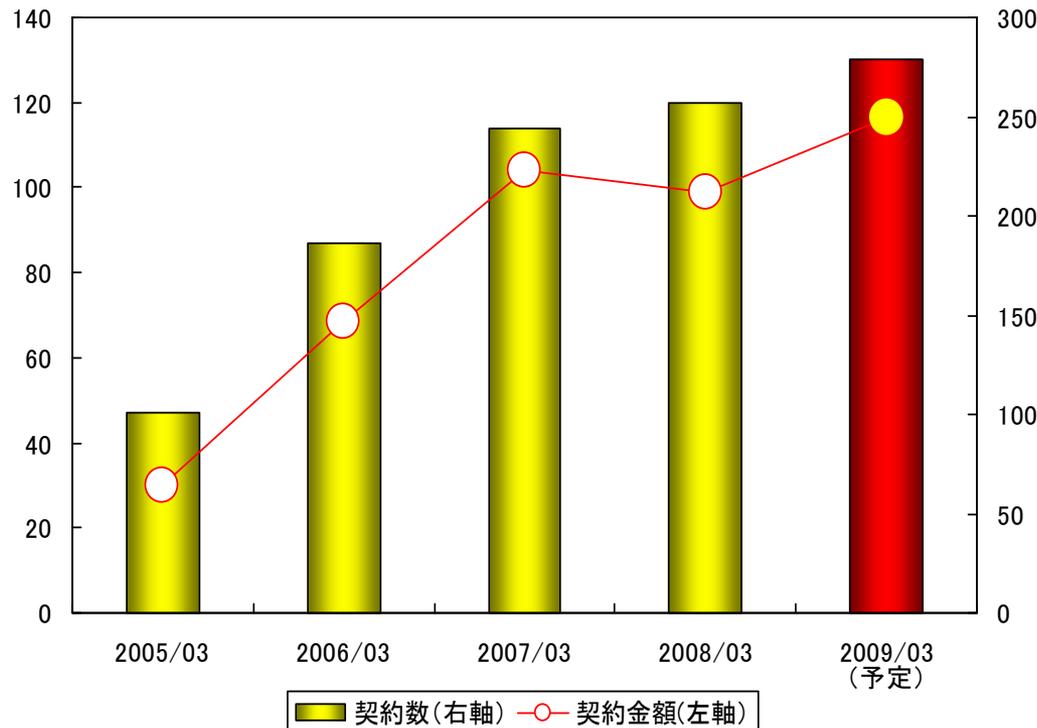
メンテナンス分野の拡大

- 総合的生産ラインのアウトソーシングに対応、受託中堅医薬品メーカーの生産設備保守要員不足をターゲットにし、メンテナンス一括契約の拡大、更なる顧客満足度向上を図る

(単位:百万円)

■メンテナンス契約実績&予想

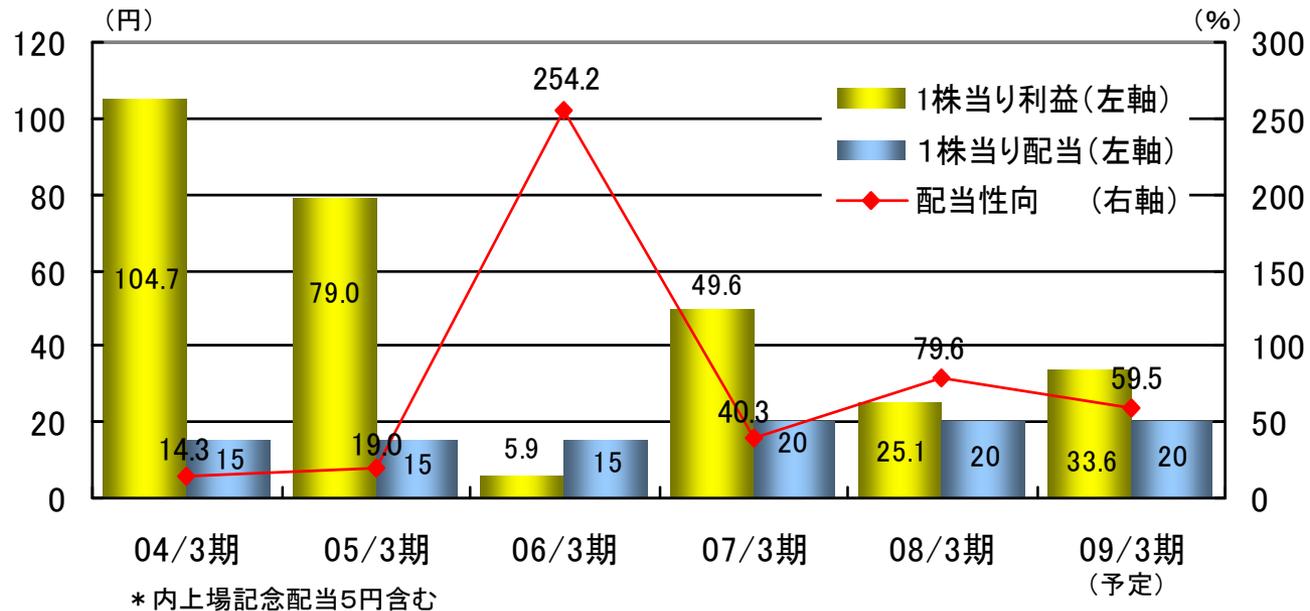
(単位:件数)



	契約数	契約金額
2005/3月期	47件	64百万円
2006/3月期	87件	147百万円
2007/3月期	114件	223百万円
2008/3月期	120件	212百万円
2009/3月期(上期)	79件	136百万円
2009/3月期(通期)	130件	250百万円

配当 方針

経営体質の強化並びに今後の事業展開に備えるべく必要な内部留保を確保しつつ安定した配当を継続に努めることを基本方針としております



配当利回り(*)	2.14%	1.68%	2.14%	3.45%	3.88%	%
----------	-------	-------	-------	-------	-------	---

(*)各期末株価に基づき算出

09/03期予想配当金 : 20円

自己株取得予定 : 2008年5月20日~2009年3月13日 150千株(上限)

ミューチュアル決算説明会にご参加 して頂きありがとうございました

将来の見通しに関する注意事項

本資料に掲載されている株式会社ミューチュアルの業績見通しについては、現時点で入手可能な情報に基づいた見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。

そのため、これらの業績見通しにのみ全面的に依拠して投資判断を決定することは避けるようお願いいたします。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご理解ください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向、需給、世界情勢などが含まれます。

お問い合わせ先

株式会社ミューチュアル

取締役総務部長 住中秀和

TEL:06-6351-3521

FAX:06-6357-6105

 E-Mail: info@mutual.co.jp